

## 校長講話「新しい夏休みを創る」7/27

1学期もあと5日です。そして、もうすぐ夏休み。楽しみですね。でも、今年は、いつもの夏休みとはまったく違います。まず、お休みが3週間になりました。そして、学校のプールも、市民プールも、花火大会もありません。なぜだか分かりますね。

それが分かる人は、家族で人混みに出掛けしたり、県をまたいで旅行に行ったり、食事に行くことも、できるだけ控えなければならぬということも分かりますね。今までとは違う、というよりも、今までとは違った過ごし方をする必要があります。

そのような今年の夏休みですが、今まで以上に楽しむ方法をお話しします。その前に、どういう人が楽しめそうもないか…。

例えば、臨時休校の3ヶ月間、家での生活を楽しめなかった人、昨日までの4連休中、感染防止を忘れて、今までと同じように出掛けしたり、遠くまで遊びに行ってしまったたりした人、心配です。自分だけは感染しないと信じて、手洗いやマスクを怠っている人、危ないですね。「今まで通りの生活がしたい!」と不満だけを募らせている人は、絶対に楽しめません。

今年の夏休みを楽しむには、逆転の発想、考え方を変えることが必要です。今までと同じように過ごしたい、ではなく、今までとは違った過ごし方に挑戦する、と自分で決めるのです。

たとえば、休みが3週間しかない、と不満に思うのではなく、3週間もあると思って、どう過ごすかを考えてください。あるいは、どこにもお出掛けできない、と不満に思うのではなく、お家でゆっくり過ごせると考えてください。宿題も例年より少ないので、自分のやりたい勉強がたくさんできると考える、などなど、発想がどんどん前向きになります。

今までと違った夏休みを、自分の手で創り出してください。いままでにこだわって、後ろばかり向いては楽しめません。これまでにない、新しい夏休みを自分が創る「自分流の夏休み」が、これからのスタンダードになっていきます。

今、日本では、新型コロナウイルスだけではなく、大きな地震や大雨などの災害で苦しんでいる人たちもたくさんいます。こうして、毎日学校来ることができみなさんは、それだけでも本当に幸せです。でも、いつもと同じとか、今まで通りとか、そうではないことが、これからは、何度も、何度も起きると思います。明日、突然、学校に来ることができなくなるかも知れません。大切なことは、いかなることが起きて、前向きに、じゃあどうしようかなと考えて、実行することです。考え方を変えないと、楽しい生活はできません。できるか、できないか、自分次第です。新しい生活を、新しい未来を、みなさん自身が創るのです。

今日からの5日間は、特別な5日間です。1学期のまとめとともに、新しい夏休み、新しい自分への5日間としてください。